ベラボン（ヤシ殻チップ）を使用したシクラメンの底面給水栽培の検討（平成 19 年度）

北九州地域農業改良普及センター
北九州市立総合農事センター

1　目的

現在､北九州市内のシクラメン栽培は過湿を防ぐため手灌水を行なっており、大きな負担になっている。そこで、平成 18 年度はベラボン（ヤシ殻チップ）を使用した仕上げ鉢で底面給水を行ない、労力の低減については効果があることが確認された。

平成 19 年度は、ベラボンの種類による生育及び品質の違いについて検討を行なった。

2　方法

（１）品種　ハイブリッジピンク、ヘリオスビクトリア、スーパーマイクロ

（２）期間　平成 19 年１月～12 月

（３）試験区

ハイブリッジピンク（６寸鉢）

試験区	鉢数
慣行用土 ＋ スーパーベラボン７.７％区	２５
慣行用土 ＋ ベラボンペレット小１０％区	２５
慣行用土 ＋ ベラボンペレット大５％区	２５
慣行用土 ＋ スーパーベラボン７.７％ ＋ ベラボンペレット大５％区	２５

ヘリオスビクトリア（６寸鉢）

試験区	鉢数
慣行用土 ＋ スーパーベラボン７.７％区	２５
慣行用土 ＋ ベラボン３Ｍ７.７％区	２５
慣行用土 ＋ ベラボンペレット小１０％区	１５

ヘリオスビクトリア（５寸鉢）

試験区	鉢数
慣行用土区	１５
慣行用土 ＋ ベラボン３Ｍ７.７％区	１５
慣行用土 ＋ ベラボンペレット小１０％区	２０

スーパーマイクロ（４寸鉢）

試験区	鉢数
慣行用土区	１５
慣行用土 ＋ ベラボン３Ｍ７.７％区	１５
慣行用土 ＋ ベラボンペレット小１０％区	１０

（４）調査項目

葉数、株の長径、株の短径、最大葉長、最大葉幅、開花数、蕾数、鉢の重さ、芽点、球径、塊茎乾燥重、根乾燥重、葉･花乾燥重（13 項目）

（５）用土

慣行用土

シクラメン用ブレンド土（清水正人氏供給）

（６）施肥・防除

別紙参照

（７）その他

鉢上げ：６月２９日

ホルモン処理：１０月９日　GA：１ppm＋BA：６０ppm

遮光：７月中旬～９月下旬 ９：３０～１６：３０　５０％遮光

温度管理：１２月上旬 １８℃

３　結果及び考察

ヘリオスビクトリア（6 寸・5 寸）、スーパーマイクロ（4 寸）では、3 比較区である「慣行用土区」「慣行用土＋ベラボン 3M7.7%区」「慣行用土＋ベラボンペレット小 10%区」のうちベラボン 3M7.7%を使用した区で、葉数、株の長径、株の短径、開花数、芽点、葉･花乾燥重の 6 項目が他区を上回った。特に、開花数は、慣行用土区の 1.5 倍以上、芽点は約 2 倍以上の数値であった。

ハイブリッジピンクについては、スーパーベラボン 7.7%を使用した区で、13 項目のうち球径、塊茎乾燥重を除く 11 項目が他区を上回った。

また、葉数や開花数が多いほうが、品質が高いと考えられる。

したがって、ベラボン（ヤシ殻チップ）を使用したシクラメンの底面給水栽培を行なう場合、ヘリオスビクトリア、スーパーマイクロに使用するベラボンの種類はベラボン 3M7.7%、ハイブリッジピンクではスーパーベラボン 7.7%が最適と考えられる。